

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】



2025-No.5 安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
2025 年 6 月 16 日 TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

防衛費 2%超を提言。原潜配備の検討も！

防衛省有識者会議の暴走！

防衛省「防衛力の抜本的強化に関する有識者会議」(座長・榊原定征元経団連会長)の報告書原案が判明しました。(6月15日共同通信などの報道から)

防衛費の更なる増額

そのおもな内容は「防衛費の GDP2%の前倒し達成」、そして「さらなる防衛力強化について訴えていくことにちゅうちょすべきではない」としてさらに防衛費増額を進言しています。

原子力潜水艦保有検討も

自衛隊の装備については「長射程ミサイル発射装置搭載の潜水艦導入が重

要」とし、その潜水艦についても「原潜」の配備も含めて検討すべきとしています。

すでに、政府はアメリカから調達するトマホーク400発について、佐世保・呉・舞鶴・横須賀のイージス艦に配備することを決めており、この提言はさらに大軍拡・戦争準備へつきすすむことを求めるものです。

今回特に見過ごせないのは、「(潜水艦による攻撃能力向上が)抑止力の大幅な強化につながる(ので重視すべき)」として、「原子力も含め、動力についてタブーを排して議論すべき」としている点です。原子力基本法は第2条で「原子力利用は、平和の目的に限り、安全の確保を旨として、民主的な運営の下に、自主



的にこれを行うものとし、その成果を公開し、進んで国際協力に資するものとする。」としており、原子力兵器は真っ向からこれに反するものです。こうした軍拡暴

走は許せません。

近くこの提言が政府に提出され、政府はこれを政策に反映させる検討をおこなうことになります。7月の参議院選挙で、戦争準備をすすめる自公

政府をおいつめ、平和憲法を守る政権へのチェンジが求められています。